



自らの可能性を拓げ、未来を拓く

けやきっ子

考動力（はきはき） やりぬく力（こつこつ） 共感力（にこにこ）

令和8年5月19日

第2号

文責 柳井 雅衣

たくさんのご協力・お力添え ありがとうございます

連休後の9日（土）には、PTA春の美化作業として、早朝から多くの保護者の皆様に参加いただきました。運動場と中庭を中心に約1時間、黙々と除草作業を進めていただき、練習がしやすくなりました。

また、向野区の皆様が、南側道路に面した土手の草刈りをしてくださいました。斜面のため、慎重な作業が必要な場所です。こちらも、休み中にきれいに刈っていただき、すっきりときれいになりました。

そして、17日（日）には、区長さん方をはじめ各地区の有志の方々約40名のご協力を得て、校地の除草作業や枝落としを行っていただきました。おかげさまで、美しい教育環境を整えることができました。

上野さん・松林さんのご尽力 校地西側がけ等の整備

毎日のように草取りやがけの整備をしてくださっている上野さん。上野さんと一緒に作業を進めてくださる教育委員会の松林さん。連休中がけの上部を、17日には玄関前花壇を防草シートで覆う作業をしてくださりました。六栄小のためにいつも作業をしてくださっています。

長洲ひまわり幼稚園職員の方々による樹木消毒作業

15日、子どもたちの下校後、樹木の消毒に来てくださいました。噴霧をするための大きな機材をトラックに積み、運動場をぐるりと囲むように生えている樹木1本1本を、ていねいに消毒されました。毎年のご支援、有難いです。

子どもたちのためにと、惜しみなくご協力いただくたくさんの方々の思いに添えていきたいと思っております。皆様ありがとうございました。

キケン ～ぜったいにのぼらない～

学校西側の階段状のがけは、上へのぼろうと思えばのぼることができます。しかし、それはとても危険です。これまで繰り返し指導をしてきましたが、ご家庭でもお子さんに折にふれ危険性を教えていただきますようお願いいたします。



六栄小学校の教育活動の様子は、学校ホームページで紹介しています。次のアドレスにアクセスするか、右側のQRコードを読み込みご覧ください。

<http://es.higo.ed.jp/rokuei/>



地震発生 ～ 避難訓練 ～

熊本地震から10年を迎えた節目の年。地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

地震発生時、まずは、落下物から身を守るために子どもたちはサッと机の下にもぐり、机の脚を握りしめ頭を守りました。その後、「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない」の約束を守り、訓練開始の放送から約5分で全児童の避難完了。万が一の際に命を守る行動ができるよう、普段から「人の話は黙って聴くこと」「素早く行動すること」について指導を重ねていく必要性を感じました。

あわせて、熊本地震関連教材「つなぐ」を活用した道徳の学習を行いました。これは、被災した児童生徒の作文や日記をもとに熊本県教育委員会が作成した副読本で、震災の経験を風化させず思いやりの心や主体的に行動する態度を育てることを目的としています。



交通安全教室 と 民生委員の皆様の見守り

8日(金)、荒尾警察署、長洲町役場、交通安全母の会の皆様にご協力をいただき、交通安全教室を実施しました。警察官から「小学生に守ってほしいこと」として次の5点を話され、子どもたちは真剣に話を聞いていました。

- 「①ヘルメットをかぶる」
- 「②一旦停止をする」
- 「③自転車は左側・車道を通る」
- 「④並進をしない」
- 「⑤事故にあったらその場を離れない・親の連絡先を覚えておくこと」

しかし、残念ながら、その日の下校時、ランドセルをからったままヘルメットをせずに自転車に乗って帰っていた人が何人もいたことが分かり、再度指導を行いました。先日は、自転車乗車中の自動車との接触も発生しました。**きまりを守ることは自分を守ること。そして、相手を守ることにつながる。** もう二度と事故がないよう、各家庭で語り込んでください。きまりを守る。



運動会スローガン達成に向けて!!

23日の運動会に向けて、いよいよ仕上げの段階に入りました。代表委員会で決定したスローガンには、子どもたちの願いがこめられています。

「力を合わせて 全力で 楽しむ やりきる けやきっ子」

練習に向かう子どもたちの姿から「できるようになりたい」「よりよいものにしたい」「がんばりたい」という思いが伝わります。職員もそうした子どもたちの思いを引き出し高めようと、一緒になって汗を流しています。みんなで創り上げます。

